

JTA、本土～沖縄先島直行チャーターを運航！

2004年度第3四半期、22本72便運航

2004年10月29日

第04046号

日本トランスオーシャン航空（JTA、本社 那覇市、社長 市ノ澤武士）は、株式会社農協観光（本社 東京都千代田区、田辺 豊社長）のご協力をいただき、今年も本土～沖縄先島直行チャーターを運航致します。

このチャーター便は、農協観光の沖縄送客キャンペーンの一環として2001年度下期（10月～翌年3月）に運航し、ご利用のお客様にも大変ご好評をいただいたことから、以後、毎年度下期の運航が定着しているもので、今年度第3四半期（10～12月）は、北海道から九州まで国内各地の計16空港から運航いたします。チャーター便が全て満席となった場合には、3,300名の皆様にご来沖いただくこととなります。

JTAでは現在、農協観光と第4四半期のチャーター便運航計画についても調整を進めており、引き続き定期便とチャーター便の双方を活用して需要喚起に努め、沖縄観光の発展に貢献して参ります。

今年度第3四半期のチャーター便運航計画概要は下記の通りです。

運航期間 2004年11月9日(火)～12月9日(木)

* 石垣空港初便到着 11/09(火)、宮古空港初便到着 11/11(木)

運航便数 22本72便 計10,800席（本土 先島の入域ベースでは22便3,300席）

（ご参考）過去の第3四半期運航実績

年度	本数/便数	入域席数	備考
2003年度	21本 59便	3,150席	
2002年度	15本 45便	2,250席	
2001年度	37本110便	5,550席	農協観光チャーター運航初年度

注) 上記は農協観光社以外のチャーター便を含まず。

出発地 女満別、中標津、帯広、秋田、花巻、庄内、山形、福島、名古屋、小松、鳥取、出雲、広島、山口宇部、福岡、佐賀（計16空港）

使用機材 ボーイング737-400型機（150席）

基本旅程 本土各地 石垣島(2泊) 宮古島(1泊) 本土各地 の3泊4日

用機者 株式会社農協観光

運航会社 日本トランスオーシャン航空株式会社

以上